

令和6年度使用小学校教科書採択選定観点

大観点及び各教科、種目共通の観点

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長

- (1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
- (2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。

【各教科、種目（「特別の教科 道徳」以外）】

2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
- (2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
- (3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。

※(4)以降は教科独自観点到記載

3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長

- (1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
- (2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
- (3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

教科独自観点

【国語】

- (4) 各領域において、言語活動を通して資質・能力を育成できるような内容・構成になっているか。 A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと
- (5) 我が国の言語文化に関する指導の充実を図ることができるよう工夫されているか。
- (6) 読書活動に結び付くよう工夫されているか。

【書写】

- (4) 各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力が育成されるよう工夫されているか。
- (5) 硬筆と毛筆を関連付けて学習を進めることができるよう工夫されているか。
- (6) 硬筆と毛筆の分量は、適切に配慮されているか。

【社会】

(4) 3年

- ア 身近な地域や市町について、人々の生活との関連を踏まえて理解を深め、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養えるよう配慮されているか。
- イ 地図帳や各種の具体的資料を基に課題を追究したり解決したりする活動を促すとともに、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養えるよう工夫されているか。

(5) 4年

- ア 自分たちの県について、人々の生活との関連を踏まえて理解を深め、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養えるよう配慮されているか。
- イ 地図帳や各種の具体的資料を基に課題を追究したり解決したりする活動を促すとともに、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養えるよう工夫されているか。

(6) 5年

- ア 我が国の国土の地理的環境や産業の現状について、国民生活との関連を踏まえて理解を深め、我が国の国土に対する愛情や産業の発展を願い将来を担う国民としての自覚を養えるよう配慮されているか。
- イ 地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を基に課題を追究したり解決したりする活動を促すとともに、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養えるよう工夫されているか。

(7) 6年

- ア 我が国の政治、先人の業績や優れた文化遺産、国際社会における我が国の役割について理解を深め、平和を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養えるよう配慮されているか。
- イ 地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を基に課題を追究したり解決したりする活動を促すとともに、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養えるよう工夫されているか。

【地図】

- (4) 社会的事象について情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるように工夫されているか。
- (5) 地図や統計資料等は、社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を支える上で、適切な内容、構成、表現方法であるか。

【算数】

- (4) 学年間で指導内容を重複させるなど、適切な反復による学習が展開できるよう工夫されているか。
- (5) 思考の過程や判断の根拠などを、言葉や図、数、式、表、グラフなどを用いて表現し伝え合う活動が工夫されているか。
- (6) 数学のよさに気づき、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとするよう工夫されているか。

【理科】

- (4) 日常生活との関連を図り、直接体験を重視した教材の工夫がされているか。
- (5) 自然に親しみ、見通しをもって学習することができるよう工夫されているか。
- (6) 観察・実験等が安全に行われるよう適切に配慮されているか。

【生活】

- (4) 活動内容及び教材は、児童の身近な事象を取り上げ、具体的な活動や体験を通して気づきの質を高めるよう工夫されているか。
- (5) 具体的な活動や体験を通して、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気づき、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう工夫されているか。
- (6) 入学当初において、生活科を中心とした合科的・関連的な指導を行うスタートカリキュラムが編成できるよう工夫されているか。

【音楽】

- (4) 表現領域の三つの分野及び鑑賞領域を、適宜、関連を図ることができるような内容、構成になっているか。
- (5) 表現及び鑑賞の活動を通して、共通事項を理解し、身に付けることができるような題材構成となっているか。
- (6) 我が国や郷土の伝統音楽に愛着をもち、理解を深めることができるよう工夫されているか。

【図画工作】

- (4) 自然物や材料やその形や色などに働きかける造形遊びをする活動においては、児童が発想や構想を繰り返す中で造形活動の経験や技能などを発揮することができるよう工夫されているか。
- (5) 絵や立体、工作に表す活動においては、形や色、イメージなどを手掛かりに、材料や用具を使ったり、表現したりできるよう工夫されているか。
- (6) 作品などを鑑賞する活動は、形や色、イメージなどを基に、主体的によさや美しさなどを感じ取ったり、自分なりの意味や価値をつくりだしたりできるよう工夫されているか。

【家庭】

- (4) 日常生活の中から課題を発見して解決方法を考え、実践を評価・改善することができるよう工夫されているか。
- (5) 身に付けた知識や技能を実際の生活に生かすことができるよう工夫されているか。
- (6) 学年の発展性や系統性、他教科との関連を図れる題材となっているか。
- (7) 製作、調理などの実習や観察、調査、実験などの実践的・体験的な学習活動を行う上で、資料は活用しやすいものになっているか。

【保健】

- (4) 健康の大切さを認識するとともに、家庭や学校における毎日の生活に関心をもち、健康によい生活が続けることについて理解を深める内容、構成になっているか。
- (5) 年齢に伴う発育・発達の変化及び個人差と思春期の体の変化などについて理解を深める内容、構成になっているか。
- (6) 心は年齢とともに発達すること及び心と体は相互に影響し合うことについて理解できるようにするとともに、不安や悩みを緩和するための簡単な対処の方法を行うことができるような内容、構成となっているか。
- (7) けがが発生する原因や防止の方法について理解できるようにするとともに、けがの簡単な手当てができるような内容、構成になっているか。
- (8) 病気の発生要因や予防の方法、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響についての理解を深めるとともに、地域において保健にかかわる様々な活動が行われていることについて理解を深める内容、構成になっているか。

【英語】

- (4) 五つの領域において、基本的な語句や表現に繰り返し触れることができるよう工夫されているか。
- (5) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などが明確に設定され、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動が行われるよう配慮されているか。
- (6) 日本を含む様々な国の文化に触れることができる題材を取り上げているか。

【道徳】

- (1) 児童の発達の段階に即し、ねらいを達成するために適切に配慮されているか。
- (2) 児童が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるよう適切に配慮されているか。
- (3) 指導方法を工夫できるよう言語活動や問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等について適切に配慮されているか。
- (4) 公正な視点から、児童の発達の段階に即し、物事を多面的・多角的に考えられるよう適切に配慮されているか。
- (5) 現代的な課題などにおいて、国際的な視野も含めて、広く題材の選択等を行っているか。
- (6) 家庭や地域社会と連携した活用ができるよう適切に配慮されているか。